

不孝

○按ズルニ、本書ハ徳川幕府ノ公撰ニシテ、事蹟全國ニ涉リ、五十卷ヲ以テ完了ス、

〔肥後孝子傳〕序我邦寛文六年より寶曆五年に至る迄、公の褒賞を蒙る孝子忠臣、斯に輯録する所の者六十二人、願ふに猶脱たる者多からん、老友神崎直衛嘗て其傳を撰して梓に鏤め、其令名美德を周く民に顯はして、永く世に傳え、且風教の萬一を助んことを欲し、當時官府の簿書に因て既に筆を起し、未稿を脱するに及ずして没せり、豈惜からずや、是に於て正尊自揆らず、今其志を繼、其事を成して三卷とし、是を前編とす、其後なる者數百人、皆其姓名を記し、姑く五十餘人の傳を撰じて又三卷とし、是を後編とす、凡そ六卷名づけて肥後孝子傳といふ、

天明二年壬寅仲秋

中村正尊謹識

〔下學集〕下學集、不孝二字、爲勸當之義、似無其理、歟、勸當之義、見上面矣、

〔律疏〕名例八虐

四曰惡逆、謂毆及謀殺祖父母、父母、殺伯叔、父姑、兄姊、外祖父母、夫夫之父母、

○中七曰不孝、謂告言詛、詈祖父母、父母、本條直云、告祖父母、父母、此注兼云、告言、文雖不同、其義一也、詛猶呪也、詈猶罵也、依本父母、父母、求愛媚、而厭呪者、徒二年、厭呪、雖復同文、理乃詛輕、厭重、但厭、魅、凡人、則入、不道、若呪、詛者、不入、八虐、例、上恐、名字、脫、云、其應、入、罪者、則舉、輕、以、明、重、然、呪、詛、是、輕、向、入、不、孝、厭、魅、是、重、亦、入、此、條、及、祖、父、母、父、母、在、別、籍、異、財、無、至、孝、之、心、名、義、以、之、俱、論、情、節、於、茲、並、弄、稽、之、典、禮、罪、惡、難、容、二、事、既、不、相、須、違、者、居、父、母、喪、身、自、嫁、娶、若、作、樂、釋、服、從、吉、居、父、母、喪、身、自、嫁、娶、皆、謂、首、從、得、罪、者、若、其、獨、坐、主、婚、並、當、入、八、虐、居、父、母、喪、身、自、嫁、娶、若、作、樂、釋、服、從、吉、居、父、母、喪、身、自、嫁、娶、皆、謂、首、從、得、罪、者、若、其、獨、坐、主、婚、人、等、故、也、其、男、父、居、喪、娶、妾、合、免、所、居、一、官、女、子、居、喪、爲、妾、得、減、妻、罪、二、等、並、不、入、三、不、孝、若、爲、樂、者、自、作、遣、服、者、吉、聞、祖、父、母、父、母、喪、不、舉、哀、詐、稱、祖、父、母、父、母、死、依、禮、開、親、喪、以、哭、答、使、者、盡、哀、而、問、故、父、母、之、哀、或、簡、擇、時、日、者、並、是、其、詐、稱、祖、父、母、父、母、死、謂、祖、父、母、死、非、奸、父、祖、妾、

〔日本書紀〕七行十二年七月熊襲反之不朝貢、八月己酉幸筑紫、十二月丁酉議討熊襲、於是天皇